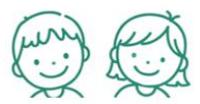


力を合わせて、海へ



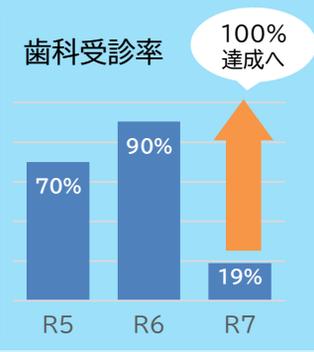
学校HP



7/8(火)・9(水)5年生が、1泊2日の集団宿泊教室を行いました。
1日目は、「水俣に学ぶ肥後っ子教室」の一環として、水俣市を訪問し、水俣病資料館や環境センター等で公害被害から環境再生へと立ち上がる水俣の姿を学習しました。この学習を通して、水俣病の正しい理解を図り、差別や偏見を許さない心情や態度を育むとともに、環境や環境問題への関心を高め、環境保全や環境問題の解決に意欲的に関わろうとする態度や能力の育成を目指しています。
2日目は、あしきた青少年の家で、様々な体験活動を行いました。パーロン船で海へ漕ぎ出すマリ活動では、みんなの力を合わせないと前に進まない!?!ことを実感し、協力の大切さを学びました。

健康診断の結果を受けて

本校では、1学期前半に児童の健康診断を実施し、その結果を関係児童の保護者にお知らせしています。受診については、今後、夏休み等を利用して、計画的に進めていきたいと思ひます。
特に、歯科受診については、R6年度の受診率は90.3%であり、R7年度70%より大きく増加しました。
また、歯垢付着・歯肉要観察と診断された児童の割合が45%と多い傾向にあります。各ご家庭では、児童の受診をお願いしますとともに、ふだんの生活での歯みがき等の指導をお願いします。



スクリーニング検査とは

学校の健康診断は、疾患の疑いのある者を発見することを目的に行うスクリーニング検査です。受診勧告され、歯科を受診したけれども、むし歯ではないと診断されるケースもありえることです。その際に、「受診を勧められたが、むし歯でなかった。学校は、手間をとらせた。」と思わないでいただきたいのです。むしろ、「むし歯の疑いがあったが、むし歯でなくてよかった。」と受け止めていただければ幸いです。

